

# 多賀工業会 東京支部会報

2015年5月 第18号



< ヒマラヤの山並 >

# 巻 頭 言

支部長 上月 秀俊（昭36学機）



多賀工業会東京支部の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃より支部の運営にご理解ご支援を戴きますこと、衷心よりお礼申し上げます。昨年末の衆議院選挙で、第3次安倍内閣が発足しました。重点施策の経済再生と将来施策としての地方創生・女子力活用は、地方大学活性化への大きな関心事です。「国立大学法人化」後の「大学改革実行プラン」等で大学の在り方が見直され、グローバル化の進展で大学の総合力が要求されています。茨城大学では地域振興と社会貢献を重点にした施策、具体的には地域の未来づくりに参画できる人材の育成へ展開しています。工学部では工学各分野において高度な技術者の育成・原研関連の高度専門家の養成を通し、科学技術を社会に適切に伝える先導的人材を育成する施策の具体的展開を進めておられます。法人化後改革に次ぐ改革へと競争感覚を取り込み、多忙を極める大学になって来ています。

さて、我々同窓会の悩みは支部活動の活性化でした。特に参加者の高齢化で若年層を如何に勧誘して行くかにあり、同好会・女子会の活性化で参加者の増強・各年同期会からの参加促進に、関心の焦点が置かれておりました。しかし大学の変革の状況から同窓会としては今までとは違う考え方、具体的には同窓会的発想から脱却して大学との繋がりを大学の施策を支援する活動に重点を置き展開する多賀工業会へと、変革して行く方向が期待されているのではと感じます。これからの活動のひとつとして、若い卒業生を含め卒業生の貴重な経験を大学の施策の中に生かし、共に成長する関係を構築する役割が期待されているのではと思います。ややもすると65歳以上にならないと支部活動にも参加されない雰囲気がありますが、会社組織での活躍の中心である35～50歳代の方々にもっと多く卒業後の大学との関係についての関心を高める方策と、学生が卒業後早い時期に多賀工業会会員としての大学との繋がりに関心を持ち行動する下地づくりを、卒業時に理解を高める事が大切であろうと思います。

とかく歳をとると保守的になりがちですが、今年は生き残る為の変革の年ともいわれています。東京支部では、支部創設以来色々と異議・矛盾がありながら長年4月年度変わり・10月支部総会で進めて来ましたが、今年度から先ず支部総会時期を7月に開催する事にしました。これに伴い会報発行・原稿収集・等々新年早々から大変な労力を要しますが、関係者の大きなご支援とご協力を頂き推進する事になりました。さらに今年は「同窓の集い」の講演会を、新進の女子会が幹事役となり進行致します。同年代の方々は何論、若い方々に関心をお持ち戴き「同窓の集い」にご参集戴きたく思います。先ずは今迄の殻を破り改革へ踏み出し、支部活動の若返りの機会になる事を切に期待しております。

最後になりましたが、多賀工業会並びに支部の皆様の益々のご活躍並びにご健勝を祈念申し上げます。

# 2015年 第18号 目次

巻頭言	-----	上月 秀俊	-----	1	
目次	第18号会報目次	-----	-----	2	
報告	第35回同窓の集いご案内	-----	-----	3	
	平成26年度同窓の集い報告	-----	高木 二郎・森田 徹郎	-----	4
	平成26年度同窓の集い写真集	-----	写真部	-----	5
	講演会概要（東京スカイツリー余話）・出席者名簿	-----	-----	6～7	
	平成26年度東京支部会計報告	-----	森田 徹郎	-----	8
	平成27年度東京支部会計予算（案）	-----	森田 徹郎	-----	8
随筆	私のカメラ遍歴	-----	菊地 玲二	-----	9
	俳句の楽しみ（句会と吟行）	-----	藤枝 伸一	-----	10
	私の履歴書	-----	駒板 俊樹	-----	11
	美味しい日本酒を求めて	-----	増田 芳成	-----	12
	ベトナム旅行記	-----	小賀 博之	-----	13
	相馬野馬追 横須賀出陣	-----	山本 夏江	-----	14
特別寄稿	海を渡った仏像	-----	玉川 信二	-----	15
	フィリピン台風被災者支援活動体験記	-----	寺内 賢一	-----	16
支部めぐり	鹿行支部の紹介	-----	川浪 英靖	-----	17
活動報告	囲碁同好会	-----	田中栄太郎	-----	18
	ゴルフ部	-----	佐藤 将彦	-----	19
	山遊会	-----	小森 廣樹	-----	20
	写真部	-----	三好 成實	-----	21
	平成26年度同窓の集い作品展出展写真から抜粋	-----	写真部	-----	22
	平成26年度同窓の集い作品展出展リスト	-----	写真部	-----	23
	女子会	-----	太田 悦子・寺田しげ子	-----	24
	テニス部	-----	森永 隆宏	-----	25
組織	東京支部組織体制と担当役務	-----	-----	-----	26
お知らせ	平成26年度会費納入者・寄付者名簿	-----	-----	-----	27～28
会則	東京支部会則	-----	-----	-----	29
連絡	ホームページ編集室より・編集後記	-----	ホームページ・会報編集室	-----	30
協賛広告	ジュン・ホーム、整体健康開発院、大協印刷	-----	-----	-----	裏表紙

## 表紙の写真：『ヒマラヤの山並』 撮影地：ネパール ポカラ近郊

毎年ネパールに出かけており、ポカラにあるフルバリ・リゾート&スパホテルから撮影した風景です。左からアンナプルナ・サウス（7,219m）、アンナプルナⅠ（8,091m）、マチャブチャレ（6,993m）、アンナプルナⅢ（7,555m）の山並です。

良く晴れた日に芝生に寝てこの風景を見ていると、日本であくせく働いている日常が馬鹿馬鹿しくなります。

鈴木 日出男（昭30学原）

# 第35回多賀工業会東京支部同窓の集いご案内

1. 日 時 平成27年7月11日(土) 午前10時から

2. 場 所 アルカディア市ヶ谷(右図参照)  
東京都千代田区九段北4-2-25  
電話 03-3361-9921(代表)

交 通 : JR市ヶ谷駅(中央線)下車徒歩3分  
地下鉄市ヶ谷駅(有楽町線、南北線、  
都営新宿線のA1出口)

3. 会 費 8,000円(当日受付にて申し受けます)  
女子会員は4,000円とします。

4. 総 会 午前10時00分～午前11時00分

5. 講演会 午前11時10分～午後00時00分

演題「3.11 福島を通して」

講師 山本 夏江 氏(平10学機)  
(講師略歴等は下段)

6. 懇親会 午後00時10分～午後02時30分まで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。[一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上事前に写真部連絡窓口(21ページ参照)の三好成實まで電話(FAX同じ)で連絡下さい。]

8. お願い 出欠のご返事は6月10日(水)までに同封のハガキにてお願いします。

出席連絡後予定変更で欠席となる場合は、7月2日(木)までに連絡をお願いします。それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くことになります。右のQRコードを利用戴けます。

また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費2,000円をお振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

飯塚 英一(昭46学電) TEL: 045-755-1588 FAX: 03-6862-8291



## 3.11 福島を通して ～復興に一役～

講 師 : 山本 夏江 氏(平10学機)

講演概要: 1. ボランティアとは何か

- ・災害時に求められるボランティア
- ・災害後に求められるボランティア

2. 2011年3月11日から数週間の出来事

- ・職場から見た日本の動き
- ・その後福島入りした時の印象

3. 横須賀に、相馬野馬追を招待

- ・横須賀に招待する経緯から、実行にいたるまでの話

4. 日本の社会貢献

- ・日本における社会貢献の浸透性
- ・企業や、民間団体で支援する社会貢献の重要性

講師紹介: 平成10年茨城大学工学部機械工学科 卒業  
平成12年北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科修了  
現在は米海軍(横須賀基地)勤務



### 趣味

- ・温泉めぐりの旅
- ・ピアノ

# 平成26年度東京支部同窓の集い

高木 二郎 (昭38学化)

森田 徹郎 (昭42学電)

東京支部「同窓の集い」は、平成26年10月19日(日)14時30分から19時過ぎまで、上野精養軒で開催されました。本部長の塩幡宏規(昭47院精)氏をはじめ、千葉県、埼玉、水戸勝田、静岡、栃木、仙台、中部、日立総合の各支部代表の方々をご来賓にお迎えし、出席者総数80名となりました。ご来賓の方々には遠路はるばるご出席、まことに有難うございました。以下に、同窓の集いの概要を記載します。

## 第1部 総会 (14時30分～15時30分)

高木支部幹事の司会で、上月秀俊(昭36学機)支部長の音頭で亡くなられた方々への黙祷後、開会の辞ではじまりました。上月支部長は、経済状況、大学の近況から東京支部の近況に触れ話されました。「支部に於いては本部・学校との連携へは関心を持ち、機会を捉え協議出来る体勢です。支部内は会員のご協力にてテニス同好会が発足し活動を初めました。会報編集室長・名簿編纂室長も1年代若返りました。会報内容の見直し、会報配布先の選択改善へと議論工夫を進めています。どこの支部でも頭の痛い問題は世代の代替わりです。」と支部の課題と今後の対応について述べられました。本部長の塩幡会長の挨拶に続いて、来賓の方々全員からご挨拶と各支部の活動状況のお言葉を戴きました。

### 議事

1. 支部活動・・・小林幹事長
2. 会計報告・予算・・・森田会計幹事
3. 会計監査報告・・・田中監事

について各担当から説明され、原案通り承認されました。

なお、小林幹事長(昭38学機)から次回総会の日程と場所の変更について、特に説明がありました。総会出席者リストは7頁に掲載。

## 第2部 講演会 (15時45分～16時45分)

栃木支部会幹事長の羽石良一(昭42学精)氏による演題「東京スカイツリー余話---鋼構造の最新技術---」という講演でありました。講演概要は6頁に掲載。

## 第3部 懇親会 (17時00分～19時00分)

地下講演会場(ホール銀杏)から、2階の宴会場に席を移動して開催されました。卒業年度の近い方々毎の円卓を囲み、先輩、後輩の垣根を取り払い大いに飲み語り合いの場を持つことが出来ました。開始に先立って、今回の初参加者の方々の紹介を行いました。三本木顧問(昭30学金)の乾杯の音頭で開始しました。途中で橘弘(昭38学電)氏のクラリネットの演奏を聴き、続いて演奏に併せて校歌を歌いました。懇親会で、大泉副幹事長(昭40学精)はテーブル席を出席者の中で特に若い方々と同じくし歓談をしながら幹事会の幹事へのお誘いし、成果が上がりました。最後に寮歌を合唱し、駒場副支部長(昭38学機)の中締めで閉会となりました。



上：総会、左：講演会、右：写真展

### 写真展

恒例の写真部による写真展が会場壁面で行なわれました。多くの参加者は、外部写真展での受賞作品もありそのレベルの高さを賞賛されていました。出展写真は22～23頁に掲載。

# 第34回 (H26) 同窓の集い スナップ写真集

総会 多賀工業会塩幡会長の挨拶



懇親会 1



総会 来賓からの祝辞



懇親会 2



講演会 羽石講師による「東京スカイツリー余話」



懇親会 3



写真展示



校歌斉唱



# 平成26年度同窓の集い講演会概要

## 東京スカイツリー余話

### ～鋼構造の最新技術～

講師 羽石 良一氏(昭42学精)

多賀工業会栃木支部会 幹事長

栃木県建築士会 副会長

講師は鋼の構造材としての設計、構造物への応用技術の開発、規格や品質の管理・指導と幅広い分野の仕事に携わって参りました。また、

- ・建築鉄骨構造技術支援協会 常務理事
- ・一級建築士、一級建築施工管理技士、統括設計専攻建築士
- ・溶接学会 FELLOW、国際溶接学会 IWE

その他、関係する委員職に在り、取得資格多数お持ちです。

#### 講演概要

##### 1. 社会と鋼構造

地球全質量の1/3以上を占める周期律表26番目「鉄」は、人類の歴史上最も身近な金属の一つとして時代と共にその製法技術も発達してきましたが、現在、炭素などの合金成分を調整した「鋼」として社会インフラ構築に貢献しています。

例えば、

- 1) 原子力発電関係：原子炉圧力容器及び配管やシユラウドなどの溶接構造物
- 2) 鋼橋：鋼の長所を最大限に利用した大スパン構造物
- 3) 超高層建築：他の構造材にない靱性に期待する設計コンセプトの高アスペクト比構造物などがあります。東京スカイツリーの構造には「鋼」に係る設計、製造、施工、管理などの先端技術が生かされています。

鋼構造建築物に対する過去の自然災害や不具合施工における教訓、及び関連技術の進歩などを踏まえた構造設計法や関連法規の整備が進み、大規模建築物の安全性を高めています。

##### 2. 構造材としての「はがね」

建築構造特有のディテールにより、Z方向絞り値、小入熱による低温割れ対策、 $C_{eq}$ ・ $P_{cm}$ など溶接に係るパラメーター、降伏比、吸収エネルギー値などに関する機械的性質が要求されます。そのため、製鋼工程における緻密な成分調整、800—500冷却速度管理などの厳しいプロセス管理により製造されています。

##### 3. 鋼構造のかなめは「接合部」

鋼構造物の主な工程は、切断、孔あけ、ベベル・スカラップ加工、摩擦面処理、曲げ、組立て、溶接、歪

み矯正、防錆処理、輸送、建方、現場溶接・高力ボルト接合などであるが、最も重要なものは接合であり、その一般的な方法として溶接及び高力ボルト接合があります。

溶接は、コンパクトで高い剛性の接合部が得られるが、法令で求められている母材同等以上の性能を安定的に確保するためには高度の管理技術が要求されます。高力ボルト接合は、主に現場接合部に適用されます。所定のすべり耐力を確保するためには、 $50\mu mRz$ 以上の粗さ、その他適切なすべり係数が得られる摩擦面処理を行い、所定の軸力が導入されるような締付け管理が必要であります。



#### 諸元：

高さ（工作物）634m

軒の高さ（建築物）471m

主柱脚部間 68mの正三角形

搭状比（アスペクト比）

9.3 : 1

地上部鉄骨質量 32,000ton

ハイブリッド構造

（塔体S造・心柱RC造）

##### 4. 東京スカイツリーの構造

極めて搭状比の大きな工作物であり、長期再現期間を想定した地震・風についての時刻歴応答解析により構造及び部材断面を決めています。低層棟地下階は、一般的な逆打ち工法であるが、同時施工の塔体最下部鼎トラス柱基礎は順打ち工法で、-35mの洪積砂礫層に定着させると共にナックルウォールなどで支持力を確保しています。上部構造は、塔体S造、心柱RC造のハイブリッド構造であります。塔体は鋼管分岐継手によるトラス構造で、11,000tonの心柱をオイルダンパーで支持するパッシブ制振としています。

また、3,000tonのゲイン塔は主に風対策として2層式TMDによるアクティブ制振を採用しています。構造材は、主に低カーボン多方位ベイナイト技術による水冷型TMCPで製造された大臣認定品で、下部の大径鋼管柱は2シームレスバンド工法により製作されています。

##### 5. 放射線・超音波と品質

鋼構造溶接接合部の内部品質確認方法として非破壊試験があり、一般的にRT（放射線透過試験）やUT（超音波探傷試験）が適用されているが、東京スカイツリーの溶接部においても使われました。

## 6. おわりに

東京スカイツリーの塔体外周部の現場接合法は、様々な条件を考慮した結果、溶接法が採用され国内最高レベルの溶接技能者と溶接管理技術が投入されました。本工事は、下部躯体構造、上部躯体構造、高機能材、制振技術、製作技術、現場施工技術、検査技術など各分野相互の極めて効果的なコラボレーションにより実現したものとと言えます。

## 結び

講演は、工学部出身者が対象になることから都心部に東京スカイツリーという大規模の塔建築物を建設する要になる鋼材を取扱う為の先端技術について、特に溶接技術・品質管理を中心にお話し頂きました。また、多方面に亘る分野の効果的な組織・技術面の協力が得られて634mの塔は実現したとの事でした。

## 同窓の集い出席者名簿

### <来賓> 10名 (敬称略)

塩幡 宏規	多賀工業会	本部長	(昭47 院精)	松谷 正光	栃木支部会	副支部長	(昭41 学精)
綿引 貞男	千葉県支部	支部長	(昭38 学電)	金田 万庫	仙台支部	支部長	(昭44 学電)
高橋 伸二	埼玉支部	幹事長	(昭41 学機)	佐藤 淳一	中部支部	支部長	(昭43 学機)
岡野 博親	水戸勝田支部	支部長	(昭33 学電)	磯崎 公郎	日立総合支部	支部長	(昭34 学原)
寒風澤 毅	静岡支部	支部長	(昭41 学機)	羽石 良一	講演会	講師	(昭42 学精)

### <会員> 70名 (敬称略)

朽本 二郎	(昭19 専原)	大久 忠雄	(昭38 学電)	青野 潔	(昭41 学化)
明石 和夫	(昭22 専金)	大竹 充	(昭38 学電)	小森 廣樹	(昭42 学機)
海老原 和	(昭24 専電)	兼子 八郎	(昭38 学電)	森田 徹郎	(昭42 学電)
玉川 信二	(昭28 学電)	後藤 紀夫	(昭38 学電)	佐藤 将彦	(昭43 学子)
三本木 武	(昭30 学金)	小林 渡	(昭38 学電)	角田 勇	(昭43 学子)
鈴木日出男	(昭30 学原)	佐々木登喜夫	(昭38 学電)	斎藤 昭	(昭44 学化)
山崎慎一郎	(昭31 学原)	田川 政行	(昭38 学電)	小滝麟太郎	(昭45 学電)
溝口 知昭	(昭32 学機)	熊谷 文男	(昭38 学電)	根本 憲一	(昭45 学機)
矢野 睦男	(昭32 学原)	橘 弘	(昭38 学電)	黒澤 郁雄	(昭45 学精)
上月 秀俊	(昭36 学機)	寺内 賢一	(昭38 学電)	藤枝 伸一	(昭45 学子)
真下 知行	(昭36 学機)	橋本 政巳	(昭38 学電)	飯塚 英一	(昭46 学電)
森永 隆宏	(昭36 学機)	海老原雄二	(昭38 学金)	金子 芳久	(昭48 学機)
飯村 卓郎	(昭36 学電)	笹沼 篤夫	(昭38 学金)	柳下 幸夫	(昭49 学機)
小宅 仁	(昭36 学電)	大塚 進	(昭38 学化)	武藤 和望	(昭50 学金)
鈴江 芳雄	(昭36 学金)	小田倉勝夫	(昭38 学化)	加藤 清	(昭50 院精)
坪 弘	(昭37 学機)	白石 道彦	(昭38 学化)	小澤 喜宏	(昭53 学子)
阿部 徳治	(昭37 学化)	高木 二郎	(昭38 学化)	加藤 邦治	(昭53 学子)
河上 弘一	(昭38 学機)	矢部 功一	(昭38 学化)	丸島 國義	(昭55 院電)
小林 一	(昭38 学機)	矢嶋 國男	(昭38 学精)	太田 悦子	(昭60 学電)
駒場 方耀	(昭38 学機)	佐川 六郎	(昭39 学機)	鈴木 葉子	(昭62 学化)
徳江 景英	(昭38 学機)	三好 成實	(昭39 学機)	二川 克美	(昭63 院情)
中村 好秀	(昭38 学機)	原 俊彦	(昭39 学電)	東 學	(平08 院生)
箱崎 光政	(昭38 学機)	田中栄太郎	(昭40 学化)		
長谷川幸夫	(昭38 学機)	大泉 雅靖	(昭40 学精)		

平成26年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：円)

費目	26年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	640,000	514,000	-126,000	169名257口(320口目標)
本部援助金	195,500	195,500	0	毎年3%減
同窓の集い会費	1,000,000	780,000	-220,000	79名(100名目標)
広告料	30,000	30,000	0	2件目標(1件昨年度納付済)
寄付・利息	-	80,168	80,168	
収入の部計	1,865,500	1,599,668	-265,832	
前年度繰越金	1,228,698	1,228,698	0	
合計	3,094,198	2,828,366	-265,832	

支出の部

同窓の集い会費	900,000	658,781	-241,219	
総会場・懇親会費		645,767		
その他諸費用		13,014		
会報費	600,000	522,528	-77,472	
会報印刷費		356,400		1300部発行
会報配送費		104,258		¥80x1300=104,000
編集雑費		61,870		
会議費	100,000	174,927	74,927	定例幹事会4回
交通費	180,000	142,587	-37,413	10支部総会
本部・支部総会参加交通費		91,483		
一般交通費		51,104		
交流費	300,000	247,463	-52,537	
本部・支部総会参加会費		90,000		本部・10支部総会参加
同好会援助		140,000		6同好会
雑費		17,463		
振込み費	38,400	15,860	-22,540	
支出の部計	2,118,400	1,762,146	-356,254	
繰越金	975,798	1,066,220		三菱UFJ銀¥1,048,480 ゆうちょ銀¥222 現金¥17,518
合計	3,094,198	2,828,366		

以上の通り報告致します。

平成27年 4月 4日

会計幹事

森田 徹郎

監査の結果上記に相違ないことを認めます。

平成27年 4月 4日

監事

高木 二郎

平成27年 4月 4日

監事

田中 栄太郎

平成27年度多賀工業会東京支部会計予算(案)

収入の部

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

費目	27年度予算	前年度実績比	摘要
年会費	600,000	86,000	年会費(2,000x300口目標)
本部援助金	189,500	-6,000	毎年3%減
同窓の集い会費	800,000	20,000	100名目標
広告料	45,000	15,000	3件目標
寄付・利息	-		
収入の部計	1,634,500	34,832	
前年度繰越金	1,066,220		
合計	2,700,720	-127,646	

支出の部

同窓の集い会費	700,000	41,219	
会報費	600,000	77,472	A4版32頁全カラー；1,300部印刷
会議費	120,000	-54,927	
交通費	160,000	17,413	10支部総会へ参加
交流費	300,000	52,537	10支部総会祝い金・6同好会援助費
振り込み費	36,000	20,140	¥120x300名
支出の部計	1,916,000	153,854	
次年度への繰越金	784,720	-281,500	
合計	2,700,720	-127,646	

# 私のカメラ遍歴

菊地 玲二 (昭26 専通)



**私がカメラを初めて手に入れたのは昭和27年ころで、一流と言われたカメラは廻り出しのサラリーマンには手が出ず、当時手に入れ易かったミハマシックスなるカメラを入手した。ところが撮影に**

関係はぜんぜん知識がなかったので、入門書を片手に撮影を開始した。どんな対象でも画にはなると色々撮りまくり悦んでいた。しかし、このカメラに納得がいかず、奮発して中判カメラのオリンパスシックスを手に入れた。レンズは純正のズイコーレンズを使用していた。

**当時のカメラは**というと、ピント合わせは目測の目盛設定、露出とシャッター速度は勘で設定し、フィルム送りも手動の加減頼りという恐ろしいカメラだった。しかし、上手く画にすると硬めの画になり、自分の望むような写真を撮れるので、自分にはとてもお気に入りカメラではあった。家の改築に際し、屋根裏に造った納戸を暗室にして、自分で現像引き伸ばしを行い、出来栄には一応満足をしていたが、何しろ屋根裏では水道が無いのに、夏は暑く冬は寒くて、温度管理の厳しい現像は諦め、専門のDPE屋にお任せすることにした。次に手にしたのはドイツ製二眼レフのイコーフレックスである。これは今でも押入れにしまっているが、品質は同じドイツの大判二眼レフのローライレフの足元にも及ばないとの思いから、いつとはなしに使わなくなっていった。

**結婚を機に**、ミハマシックス、オリンパスシックス、引き伸ばし機一式を不燃ごみとして処分したが、今から思えば勿体無いことをしたと悔やまれる次第である。子供が生まれ、親馬鹿で写真をたくさん撮るので、結構フィルム代が馬鹿にならず、普及型一眼レフのオリンパスペンを購入したが、ある夏に海水浴場で波に浚われて修理不能で破棄する羽目になり、次に手にしたのはアサヒペンタックスSP一眼レフだった。

これは今でも押入れの中に在り、ここまでくれば相当なマニアであるが、ただただ映れば良いという感覚で撮っていたのだった。

**その後**、何回かのNTT内の人事異動により写真を

扱う部署に移ったのだが、そこは、日本全国の職員を対象に社員教育する目的で教材のスライド・VTRなどを製作する部署だった。スライドのナレーションを文書で依頼されると、それに合わせた写真を撮影して教材として用いるのであった。此処までこの原稿を書きながらふと思い出したのは、数年前に写真部技術顧問鈴木氏から「写真には物語がなければ云々」と教授されたことだった。そうだ。スライドも映画の1コマもテレビの画像もナレーションなり脚本が有って1コマが出来ているのを、40年前に経験していたのではないか。でも今日まで気がつくのが遅く、現在に至るも腕は上がらず、写真部の末席を汚している現状である。話は戻るが、写真を扱う部署に3年間在籍したが、そこで目覚めたのがレンズの良し悪しについてであった。そこから、私のカメラ収集熱が始まったと言える。何しろ、当時のカメラの師匠は、『一にライカ、二にニコン』の世界で、私もどうしても欲しくなり、退職後に当時の同僚、部下(師匠)に刺激され、先ずニコンF801、コンタックスG1、ニコンF1、ライカM3、M4、M5、M6と馬鹿みたいに手に入れた。当然、交換レンズにも拘った。まあ骨董の価値は残っていたが、デジカメの出現により、価値は大幅に下落し、M4は半値で売却し、M3は、世話になった銀行の人にプレゼントした。そして、後は押入れの肥やしのフィルムカメラからデジカメに転向したが、ニコン神話に執着し、現在D40X、D70、D200、D300、D3200、D700、D800、そして、ついにマニア垂涎のライカM9を手に入れているのが自分でも不思議でならない。

**特に年を取ると**レンズが重たく感じて軽いカメラを重宝し、専らニコンデジ

タルD3200カリコーデジタルを持ち歩いているのが現状である。最後に、どうしてニコンかと言うと、先に述べた品質の他に、中学3年の4月から学徒動員で日本光学に動員され、そこで、何と三角関数を叩き込まれ、その年の8月から終戦後の約5ヶ月間にSIN、COS、TANと、実務を通じて教えて貰ったご恩返しでもある。



## 著者プロフィール

- 昭和27年：電気通信省関東電気通信局 入局
- 昭和61年：株式会社松田製作所 入社
- 昭和63年：平川音響株式会社 入社

# 俳句の楽しみ

## 一句会と吟行一

藤枝 伸一（昭 45 学子）



俳句をやりだして七年になる。駆け出しもいいところだが最近ますます面白くなってきた。そもそも俳句を始めたきっかけは御多分に洩れず、会社勤めも終わろうとする定年間

近、勤めていた会社の同僚の勧めである句会に参加したことにある。俳句に触れるのは中学以来のこと。仕事では顔なじみの連中ばかり十人ほどの句会ではあったが、少々面映ゆい。仕事以外で自分の隠れた面を披露するというには慣れていないので緊張すること甚だしい。句会当日、とにかく義務である句を五つ作って参加した。この句会の模様を紹介する。

1. 出句：幅 3 センチ、長さ 20 センチほどの紙片（短冊）5 枚に自分の作ったそれぞれの句を無記名で書き込み、裏返してテーブルの上に並べる。参加者（連衆）すべてが同じようにして出句となる。
2. 清記：出句された、ひとり五句ずつ、十人いれば五十句をよく混ぜ、三人ほどで分担して清書（清記）する。つまり誰が作った句かわからないことになる。
3. 選句：その五十句の中から参加者それぞれが良いと思う句を七句ずつ選び（選句）、さらにその中の一句を特選とする。選句総数は七十句。
4. 披講：その日の担当者が選句された句を集め、参加者それぞれが選んだ句を高らかに詠みあげて披露する（披講）。十人参加すれば七十句の披講となる。悲喜交々。得票の多い句に姿なき栄誉が与えられるわけである。

この句会には女性の先生が参加しており、この先生も一人の参加者として平等に出句し選句される。つまり、先生必ずしも多得票とは限らない。しかし先生の選句結果は参加者にとって最高の栄誉で、特に先生の特選を得た人は喜びに溢れ、以後の反省会に 500 円を出資できる、という栄誉が与えられるという会の決まり。さて、参加初日の自分の句はどうなったか。なんと先生の特選を獲得！これをビギナーズラックという、と皆から揶揄された。しかしこれが止みつきとなってしまった、というわけ。

では記念すべきその特選の句を。

老木の小枝に明かし晩の梅 紫水  
稜線を覆いて余る桜かな 紫水

俳句は 17 文字の文芸。古来日本人の心に根差す七五調のリズムは実に快く、別段作為が無くても生れるもの。季節の移り変わりの中で季節を感じ、日記代わりにでも五七五の言葉のリズムと遊んでみることも一興である。

孫の手で刈り取られたる大蜜柑 紫水  
黒富士の遥かに控え初茜 紫水

俳句の楽しみの一つに吟行というものがある。時には仲間と表に出てその季節の中をそぞろ歩き、肌を感じる花鳥風月を愛でながら句作に更けようという風流事である。吟行は句作の題材が豊富で、道すがらまだ知らぬ草花の名前、鳥の名前などを学ぶ良い機会。午前中歩き回り、昼食後に句会となる。推敲の時間が少ないくらいはあるが、そこは即席の妙で名句が生まれることが多い。たまには泊まりがけで行くこともある。

睡蓮の白く目覚めて日射し濃し 紫水

俳句の難しさは自分の感じたこと、言いたいことをとにかく五七五にまとめることにあり、そのためには言葉を十二分に吟味して使うことが必要である。無駄を省き、冗長を嫌い、季語の力を活用し、切れの間によって、更に深みのある表現が可能となる。らしい……。まだ初学者の分際で偉そうなことは言えないのであるが、どうもそういうことらしい。たまには特選を頂いて有頂天になったり、一点も入らない空しい反省会を過ごしたりしながら、それでも少しずつ句作を楽しんでいる今日この頃である。最後に最近の作をいくつか並べて皆様のご批評を頂くことにする。

春立つや耳朵の裏より川っ風 紫水  
春時雨翳すものなし野にあれば 紫水

### 著者プロフィール

- ・昭和 45 年：(株) 日立製作所入社
- ・平成 08 年：(株) 日立情報ネットワーク入社
- ・平成 13 年：(株) 日立情報システムズに合併
- ・平成 22 年：(株) ソリューションジャパン入社
- ・平成 26 年：(株) ソリューションジャパン退社

# 私の履歴書

駒板 俊樹(昭50院化)



35年勤続したコニカミノルタを卒業して4年とちょっと。現在は、非常勤の顧問を2社。週1回業界新聞記事へのコメントが定番の業務、残りは、韓国、中国、台湾等の海外メーカー相手の仕事、仕事日

は全く決まっておらず成り行き、気ままな生活を送っている。たまには海外出張もあり、そこそこの楽しみもある。毎日の予定が決まっていた生活から、明日の予定が決まっていな生活へと変化し、その嬉しさと不安、寂しさを交互に味わっている。そんな矢先、会報への執筆依頼があり、駆け足で会社人生を振り返ってみた。

## 1) ツキの始まり

学卒100名程の新入社員がいたが、入社番号は1番、入社式での代表挨拶、自衛隊体験入隊隊長等、入社早々いろいろな役回りが廻って来た。入社試験の成績が一番だったかと密かに思っていたら、何のことは無い、大学のアイウエオ順での一番であった。その後、独身寮寮長、組合執行委員等歴任、非常に人事受けする道を歩んだ。ほどなく、組合、そして人事部長から組合専従を勧められ、悩んで？いたところ、工場長からストップが掛かり、会社の道を歩めとの指示に従った。入社後、6-7年の事であり、自分の運の良さを感じた時代である。

## 2) 仕事について

最初にカラーフィルム支持体の工場建設。そして、印刷・Xレイフィルム支持体の工場建設、生産の安定稼働化。この辺までが、いわゆる自分が実務としてやった純技術的な仕事。その後は、感材フィルムの生産統括や工場経営等のマネージメント業務。最終的には、日野、小田原、甲府3工場を統括する生産トップを務めた。デジタル化が進み始める中、コニカ最後のXレイフィルム生産工場を最終責任者として建設した事を含め、入社以来種々の立場で、大きな工場建設に参画、その立ち上げに関わった事は望外の喜びになっている。

## 3) 仕事で得たもの

一つだけ挙げれば、いろいろな業種の人、いろいろな国の人との交流から得た、いろいろな思い出。考え方の違いを認識させられると同時に、相手の懐にいかに入ることが大事である事を痛感した。現役時代にお世話になった人、更に継続して今現在もお世話になっている多くの人に感謝している。

## 4) ツキの終焉

デジタル化の進行によりフィルムレスが加速、コニカは複写機事業をメインに舵を切り、2003年、ミノルタとの経営統合を実施。私は医用・印刷関連事業会社の役員となった。Xレイや印刷フィルムの事業収束を模索、3年後から実行に移した。当時、約1000人居た生産従業員を退職時には250名まで縮小させ、小田原工場は完全に閉鎖した。事業の収束や工場閉鎖、2度とやりたくない仕事である。気が付いたら、入社時とは全く異なる会社になっており、とくにツキは何処かに逃げてしまっていた。

## 5) ご褒美

甲府工場には、2000年の工場建設開始時の住民説明会から関与したが、退職までの8年間、毎週火曜日を甲府デーとして通った。そんなご縁もあり、退職直前の4月、山梨県最大のイベントである信玄公祭りで、武田軍団24将の1人である真田源太左衛門信綱役として、武者行列に参加、コニカミノルタ隊40名を率いた。馬も鎧も兜も全て初めて、乗馬クラブで練習してから参加した。これは35年間のご褒美と勝手に受け止めている。それにしても、馬上から観客に手を振る事の気持ち良さ。何とも形容しがたく、目線の少しの変化がかくも大きく気持ちも変化させるとは、改めてびっくりしたのを覚えている。



## 6) 最後に

ツキだけで始まった会社人生、やりがいを持たた仕事がほとんどで幸せであった。残念ながら最後の数年間は、滑り込み狙うもタッチアウト。少々、心に傷も負った。それでも、最後にご褒美をもらい、円満退職。大事な私の宝である人財は、退職後も自由に使わせて戴いている。本当に有難い事である。わが子からは、いつも“お父さんは勝ち組で良いね。と言われてしまう。子供は経済的な事を言っているのだが、それはそうとして、私は、お付き合い出来る人財を多数残せた事が素晴らしい事で、それが勝ち組かも思っている。

### 著者プロフィール

- ・昭和50年：小西六写真工業入社  
(現コニカミノルタ)
- ・平成22年：コニカミノルタ退職
- ・現在は中小機械加工メーカー2社の  
技術顧問

# 美味しい日本酒を求めて

## ～長山酒店の思い出～

増田 芳成（平 2 院情）

### ● 長山酒店

大学1年の頃、それなりに美味しい日本酒はサークルの飲み会で飲んでいました（未成年でしたがそれは時効という事で）。



すっかり日本酒好きになった私は、日立に移ってから、より美味しい日本酒を求めて原チャリで酒屋探しをしていました。そんな中、常陸多賀駅近くの古めかしい一軒の酒屋に辿り着きました。それが長山酒店でした。

まだ若い店主は、私に八海山を試飲させてくれました。「まるで水のような」、私に衝撃が走りました。その他、**張鶴**など本当に美味しい日本酒を試飲させていただきました。蔵元まで実際に行って、造り手と会って話をしてから仕入れを決める店主の熱意にすっかり私は感銘を受け、毎週1回は長山酒店に出掛け小一時間店主と話をする日々が続きました。当時高価であった吟醸酒は「社会人になってから買え」という店主の信念で、本醸造酒と純米酒しか売ってもらえませんでした。今ほど地酒が一般的でなかった当時、「本当は気に入ったお酒だけを売りたいが、商売として成り立たないの、美味しくなくてもメジャーなお酒も売らないといけない」そんな事を言う店主の顔は少し悔しそうでした。お店のWebサイトを拝見すると、現在は気に入ったお酒だけを販売しているようで、店主にとってよい時代になったな、と思います。

### ● 久保田の衝撃

そんなある日、店主は興奮した様子で「凄い酒が出た」と試飲させてくれたのが、昭和60年に販売を開始した久保田でした。和紙をラベルに使用したその酒は、今でこそ有名になりましたが、当時はまだ売りはじめたばかりで、まだまだ無名でした。しかし、その味はこれからの日本酒の進化を予感させる美味しさでした。「こんな日本酒が造れるのか」と私は衝撃を受けました。

### ● 基準となる味（**張鶴 純**）

「いろいろなお酒を味わう中で、自分の味覚の基準となる酒を決めると良い」という事も店主から教えていただきました。毎週一升飲んでいた中で、私が基準とした日本酒が「**張鶴 純**」でした。この酒は現在、純米吟醸として売られていますが、当時は吟醸ではない純米酒でした。極端に甘口でも辛口でもなく、それでいてしっかりした味で自分が理想とする酒に近いという理由で自分の基準として決めました。他の酒を味わう際は、この酒と比べて、どう違うのかを意識して飲むようになりました。するとそのお酒の特徴がよく分かるようになりました。この自分の基準と比べるという方法は、日本酒や他の酒に限らず、飲み屋や様々な製品やサービスにも応用できると思います。

### ● インターネット時代の日本酒選び

今は、素晴らしい日本酒を造る蔵元も増え、それらを探したり、評判を聞くことも、ネットで代替できるようになりました。昔のように足を使って酒屋を探す必要はありません。便利な世の中になりました。Amazon や楽天などで買ったお酒を味わったら、是非感想をフィードバックして欲しいと思います。そうすることで、いろいろな人が日本酒に対する知見を深めていけます。日本酒が好きな人達のコミュニティにもネットで簡単に参加できると思いますので、そこで様々な人達と意見交換することも可能です。それがインターネット時代の日本酒文化を豊かにするのではないかと思います。また、そんな時代でも、基準となる味を決めることは大事だと思います。そうすると感想もすっかりしたものになってくるでしょう。

便利なインターネット時代になった今でも、たまに長山酒店の店主と熱い話をさせてもらったあの時代を懐かしく思ったりします。この原稿を書いているうちに、また近所の酒屋を開拓してみようかとも思い始めました。新たな出会いを求めて・・・。

#### 著者プロフィール

平成 2 年 (株) NTT データ 入社

平成 15 年 (株) NTT データ

コンテンツプランニング出向

平成 17 年 NTT (株) 転籍

平成 18 年 (株) NTT データ 復帰

趣味：日本酒、音楽ライブ、観劇

# ベトナム旅行記

小賀 博之（平 21 院メ）

## 1. はじめに・・・



私が入社した現在の会社の先輩から本稿の執筆を依頼されて非常に悩んでしまった。というのも私は趣味と呼べるものがあり無く、仕事も 5 年目の若輩者であり、まだ文章に残すほどのことはできていないとの思いがある。とはいえ、今回はせつかくの機会をいただいたので、一昨年に旅行に行ったベトナム旅行について書きたいと思う。

## 2. ベトナムという国

ベトナムは正式名称が「ベトナム社会主義共和国」であり、市場経済が導入されている社会主義の国である。私は、ベトナムで最も発展しているホーチミンではなく、ベトナムの首都であるハノイに行ったのだが、到着すると目立つのがバイク、バイク、・・・またバイクである！しかもバイクに乗っている人の数が半端ではない。2 人乗りは当たり前、3 人乗りも結構見かける。私が最大目撃したのは子供含めて 4 人を乗せているバイク。しかも 50CC くらいのスクーター！にである。ホーチミンではあまり社会主義を感じないらしいのだが、ハノイでは社会主義をほのかに感じさせる時があった。まずは平日昼間なのにもかかわらず、各民家の軒先に若者たちがコーヒーなのかお茶なのかを飲みながら延々とまったりしている風景が目につく（職に就いていないのだろうか）。ホーチミンはまた違うらしいが、活気溢れる Emerging Country のようには見えなかった。また、現地の日本語堪能なガイドの方に聞いた話だと、賄賂が蔓延しており、何か問題があったときに、公務員に対してお金を解決するケースがままあるらしいとのこと。とはいえ、基本的に治安は良いということに加えて、一緒に行った会社の同期 4 人共々リスクを冒すタイプではなかったこともあり、2 泊 3 日の旅行中は特に面倒なことに巻き込まれることはなく、平和な旅行を楽しむことができた。



軍事歴史博物館

## 3. ベトナムの食事

ベトナムの食事は日本人の好みに合いやすいと思う。たまたま私が入った店がそうであっただけなのかもしれないが、代表的なフォーを始めどれも癖があまりなく美味しいものばかりであった。「インスタントのフォー（があることにも驚いたが）」を調子に乗ってお土産に持ち帰ったほどである。また、ホーチミンではなく、ハノイに来た最大の理由がチャー・カー・ラ・ヴォンという料理を食べるためだ。白身魚（雷魚？）を炭火焼きした後に油で揚げたシンプルな料理なのだが、なんと「死ぬ前に一度は食べておきたい 10 大料理」にランクインしているということもあり、この旅最大のクライマックスであったのだが、おそらく死ぬ前に食べなくても後悔はしない味！・・・決して不味くはないが！



チャー・カー・ラ・ヴォン

## 4. さいごに

やはり旅行は良いものだと思うされる。国内を旅行しても思うことなのだが、縁もゆかりもない町に降り立った時に民家が立ち並んでいるのを見ると、その家々一つ一つに家族があり、そこに住んでいる一人一人にドラマがあり、各人が各人の悩みや葛藤を抱えながら生きているのだと想像する。海外に行くとその思いは強くなり、各国毎の事情があり、日本には想像も付かない悩みを抱えていたりすることもあるのだろうと考える。旅行に出かけるとそのような一端に触れることができるため、自分が抱えている悩みなんてちっぽけなもので、大したことは無いと前向きになれるのである。もちろん単純に景観やエンターテイメントや食事を楽しむということも旅行の醍醐味である。今後も暇を見つけては旅に出て行きたいと思う。



世界遺産ハロン湾

### 著者プロフィール

・平成 22 年：NTT データ 入社

< 大学時代によく行った店 >

ピッチャーゴロ、めんかくぼう、芳月、  
麵ハウス、とん、吾平

# 相馬野馬追 横須賀 出陣！

山本 夏江（平成 10 学機）

2014 年 10 月 19 日（日）は、5 万 5 千人程の人が来場し、お天気に恵まれた穏やかな秋晴れの日でした。無事にこの日を迎え、何事もなく多くの方に喜んで頂けたことが私の喜びとして今も多くの方に感謝するのみです。



横須賀に福島県の相馬野馬追を呼ぼうと考えたのは震災後、地元の方から「米軍や海上自衛隊にお礼として相馬野馬追を見せたい」と言われ、それは良い考えだなーというおぼろげな考えから実行に至った次第。故に、強い信念のようなものを抱き臨んだのではなく、「出来たらいいな」程度からの出発。この「出来たらいいな」程度の思いが最後まで続けられたコツかもしれないし、この曖昧さが一人で最初から最後までやってしまった原因なのかもしれない。

騎馬武者を横須賀に呼ぶ為には、何よりも「お金」が必要であった。横須賀市からは、お金はない！と言われ、福島県からもない！と言われ、民間かぁーと思ひ、当然簡単にお金をくれる人などはいなく、念仏のごとくいつでもどこでも誰にでも唱えていけば何とかなるだろうと「お金がないので、お金下さい」と唱える日々が続く。その結果、ボーイングから社員の寄付として総予算の半分を頂くことができた。また日頃お世話になっている三波工業さんが理解を示してくださり、2 社で、ほぼ総額を得た。最後土壇場で理研電具さんが協力してくださったことから細かいことに使うお金も調達できて丁度良い感じになった。

およそ、1 年間の準備期間を一人で行ってきたが、なぜ一人か？というと、団体を作っているヒマも、ノウハウも持ち合わせていなかったから。というも理由の一つですが、大きな理由は、いつまでもたっても横須賀市は、何もしてくれなかったから、私が動いていた。というのが一番大きい。関係者と話をするたびに「相変わらず一人でやっているのですね。」という挨拶。終わってみれば「最後までよくお一人でやってきましたね」と言われる。そこまで何もしなかった行政の働きに皆さん

疑問を抱いて欲しいものです。横須賀市民ではないですが、これを機会に今から、行政に頼らない自分の老後等について真剣に取り組むようにしようと考えております。

当日、茨城大学関係から小林渡（昭 38 学電）様が取材にこられ、他に横浜に住んでいる同期が 1 名来た。同期は、相馬野馬追を知らず横須賀みこしパレードという大規模な祭りに相馬野馬追を出すことに一人で臨んでいることに驚いておりました。福島県浪江町出身の同期は都合がつかず、代わりに彼の幼馴染の同級生が騎馬会にいることからその方がいろいろ調整なども引き受け、当日も助けて頂いた。一人でやってきたので当日忙しいことになるだろうと覚悟はしていたが、本当に忙しかった。その忙しさを職場の同僚、海上自衛隊がまたしても助けてくれることになる。会場のスピーチで福島県議であり、標葉郷騎馬会の郷大将でもある吉田栄光様が使った言葉を使いたい。今回は、「トモダチ作戦 2」というのにふさわしい結果になった。



私の目的は、震災復興支援であったが、実際見学していた人の中には、疎開先の相馬を思い出し、戦争中の思いを寄せる人もあった。家にこもりがちの高齢者でも相馬野馬追を見たくて出てきた人もいたようで、長い歴史の中生きてきた文化には色々な思いが寄せられている。藩の崩壊、戦争、災害、人も馬も一緒に苦楽を共にしてきたのであろう。孤軍奮闘をしていたつもりはないが、本当に手を差し出して、力になってくれる人が沢山いたおかげで孤独感もなく「出来てよかったな」と、心は、2015 年 7 月最終週末に、福島で騎馬武者を見ることを楽しみにしております。皆様もぜひ侍を見に、福島県南相馬へ来て下さい。

## 著者プロフィール

平成 10 年	茨城大学機械工学科	卒業
平成 12 年	北陸先端科学技術大学院大学	知識科学研究科
平成 12 年	米海軍 横須賀基地	勤務

# 海を渡った仏像

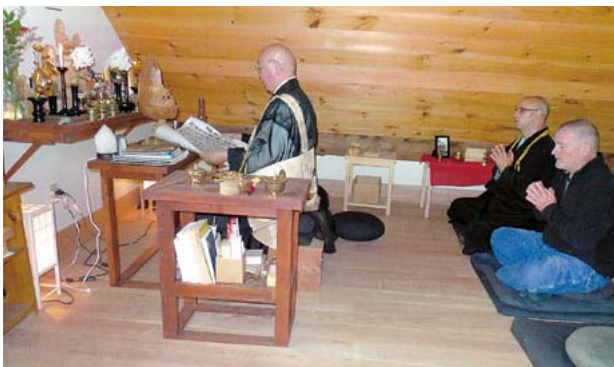
玉川 信二 (昭 28 学電)



私は若いころから国宝や重要文化財に興味があり、よく京都や奈良の寺に出かけてそれらを見て回っていた。それが病みつきになりその後新築した家の近所に「仏像彫刻教室」の看板をみつけてそこへ入り込み、仏像彫

刻を始めてからもう30年以上続いている。

その教室では年に一度展覧会が催されているが、それをご覧いただいた高名の僧侶の方が私の作品「如意輪観音像」に眼を止められ「譲ってほしい」とおっしゃり差し上げた。ところがその仏像が私の知らないうちに米国に移され、東部ニューイングランド6州のうちのバーモント州のバーリントンの寺「大日寺」に移され本尊になっていた。その高名の僧侶は田中成明阿闍梨と言われ、お若いうちに高幡不動で得度され京都大覚寺で修行、さらにインドで5年半仏教やインド教を研究されている。その後は米国で仏教の伝道、大日寺(曼荼羅寺)を開設、また米国のみでなく欧州にも伝道されて各地に仏教寺院を開設された方である。



田中阿闍梨と信者

差し上げた如意輪観音像は大日寺の本尊となり、現地の信者さん達が回向を行っている。私が一昨年米国を訪れた時にバーリントンへも廻り大日寺を訪れたが、住職の田中阿闍梨がおられなくても現地米国の信者が回向を行っていた。その後大日寺には仏像が1体では淋しいと言うので私のもう一つの大作「愛染明王像」を是非といわれ、昨年9月それを持

参してバーリントンへ渡った。その時は田中阿闍梨も同行され明王像に入魂していただいた。かくて大日寺には如意輪観音像と愛染明王像が並んだ。



米国信者による回向

大日寺の信者のドナルド氏がそれとは別に自分の寺を持ちたいということになって、リンカーン市の森に土地を買い日本式の寺院(不動山金剛寺)を建設する計画になった。完成は明年になるか明後年になるか判らないが、そこへ私が最近造った孔雀明王像を本尊としてぜひと言われている。

孔雀明王像はその後銀彩と日本画彩とで完成している。不動山金剛寺の建築ができてそれまで私が元気で海外旅行ができる体調であれば、もう一度リンカーン市へ持参したいと思っている。私はもう余命いくばくもないと思うが、これも私の生き甲斐の一つであろう。



戦後日本と米国とは密接な関係であるが、政治や経済だけでなく宗教思想で繋がることも数少ない文化交流と考える。この「文化交流」を私が果たせることができ大変嬉しく思っている。

## 著者プロフィール

- ・昭和20年：朝鮮より引揚げ
- ・昭和28年：国鉄に入社
- ・昭和35年：NECに入社
- ・平成18年：如意輪観音を寄贈
- ・平成24年：愛染明王を寄贈
- ・有資格：技術士(電気・電子)、英検2級

# フィリピン台風 被災者支援活動体験記

寺内 賢一 (昭 38 学電)



2013 年 11 月上旬フィリピン中部ビサヤ地方を襲った超大型台風 30 号 (国際名ハイエン、フィリピン名ヨランダ)

は死者約 6,300 人、行方不明者約 1,000 人、被災者約 1,600 万人という大災害をもたらしたが、特にレイテ島での被害がもっとも甚大であった。

世界各国の救援隊とともに日本からも 21 団体が復旧支援活動に入り、ボランティアとして参加している特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会も直ちに支援活動を開始し、二人で寝袋・テント持参で現地入りした。被災後レイテ島に入る数少ないルートのうちセブ島からフェリーで数時間かけてオルモック市に行くルートが動いていたが、世界各地からの救援部隊・物資や被災地からの避難民で埠頭や船内はあふれ返っていた。そこでは、欧米やアジア各地からの救援隊員や被災者達と情報交換ができた。特に薄暗い道端の食堂で出会った米人男性は、東日本大震災時にも医療関係の援助で来日したとのことで、深謝するとともに大いに盛り上がった。

オルモック市は人口 19 万のレイテ島第 2 の都市でそれに隣接する人口 3 万のメリダ町とともに秒速 100 メートルを超える暴風が通過したところであり、いたる所の惨状は眼に余るものがあった。建物の屋根・壁・窓は吹き飛ばされ、電柱や樹木がなぎ倒されていた。電線等も路端に投げ出されたままで、かろうじて通れる道路は被災住民や救援隊の車・自転車・荷車で混雑していた。被災住民は、わずかに残った自宅跡に吹き飛ばされたトタンや板きれを寄せ集め、雨露をしのいでいる状態であった。被害の大きさにもかかわらず被災住民の表情は意外にも明るく、私たちの心を慰めてくれた。オルモック市庁舎・シティホールも屋根・天井・窓が吹き飛ばされ電気がない薄暗い中、国連の援助機関や市の災害対策本部が入って執務しており、被災住民が救援物資を求めて群がっていた。そこに銃を持った兵士が巡回しており、一種混沌とした状態であった。3 ヶ月以上がすぎた時点でも、一般住宅・港湾設備・道路等はもとより、商用電源や電話はほとんど復旧していなかった。

両市町の災害対策本部長の要請を受けて 2014 年 5 月中旬まで約 6 ヶ月間 12 箇所のシティホールやバラングイ (フィリピンの都市や町の下部組織で最小の行政単位) の事務所に CA システムや ICT ステーションを設置し、2 台の車両による移動 ICT ステーションサービスを提供した。また、被災住民への衛星電話による安否確認電話サービスを提供するとともに、日本からの医療関係チー

ムの通信サポートも実施した。CA システムは一種の防災放送のようなもので、ソーラー発電機・スピーカー・マイク・ラジオ・アンプ等を備え、緊急物資の配布通知やラジオ放送を流す。一方、ICT ステーションは衛星通信設備・衛星電話・携帯電話・ソーラー発電設備・パソコン・モバイル Wi-Fi・プリンター等を設置して通信やインターネットのサービスを提供するものであり、固定型と車に積んで被災地を廻る移動型がある。活動期間中、被災地での商用電源の復旧が遅れていたため通信需要をはじめ、被災住民が使用している携帯電話・蓄電型懐中電灯・国連機関が配布したソーラーランタン等の充電需要が予測していた以上に多かった。設置された CA システムや ICT ステーションのサービスを提供する中で、利用状況のモニターを実施するとともに各バラングイの担当者にソーラー発電設備・CA システム装置・ICT 機器類・発動発電機等の操作方法や故障時の対応方法等 OJT を兼ねて説明した。また、正常に動作していない機器類の調整・修理等も実施した。



モニター結果はたくさんの被災住民が利用し、かつ大変喜ばれ、感謝の言葉や書状が現地で活躍している BHN の専門家や東京本部に寄せられた。そして、設置された CA システムは、支援物資の配布等の連絡や教会の音楽を流すなど有効に使われていたし、ICT ステーションのパソコンやプリンターは被災状況の把握や上部機関への申告・報告や救援物資配布状況の整理等バラングイ事務処理に大いに役立っていた。

半年以上に渡った支援活動を振り返ると、知己を得た友人たちや喜んでくれた被災住民の顔が次々と浮かび感無量である。取り分けその中でも、子供たちの被災をものもしない笑顔の裏側にあるたくましがひととき印象に残っている。

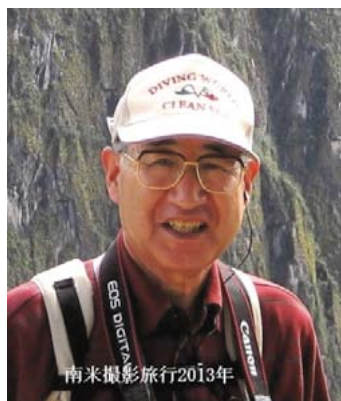
## 著者プロフィール

- ・昭和 38 年：日本電信電話公社 (NTT) 入社
- ・昭和 61～平成 15 年：中国北京市滞在
- ・平成 17 年：日本電業工作 (株) 入社
- ・現職：情報通信国際交流会

特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会

## 鹿行支部の紹介

支部長 川浪 英靖 (昭 43 学金)



鹿行支部は全国の多賀工業会 14 支部中、東京支部に続き第 7 番目の支部として昭和 56 年 10 月に発足しました。同じ茨城県内には水戸勝田支部 (昭和 51 年に発足) と日立綜

合支部 (平成 5 年発足) がありますが、交通事情等の関係で陸の孤島とも言われているこの鹿島地区に極小の支部 (在住会員数約 200 名、総会出席数 10~20 名) として『心のより所の一つとして、いつでも会員の皆様が集まってこられる場所でありたい』と願って頑張って活動しております。途中、水戸勝田支部との合併問題、最近ではつくば、土浦、取手地区の会員との合流問題等が議題にあげられており、東京支部からもこの地区の会員へ声をかけていただいております。

当支部が発足した昭和 56 年当時はいわゆる鹿島開発の槌音も高く、30 万人都市を目指して住友金属を中心とした鉄鋼業、三菱油化や鹿島石油を中心とした化石燃料業等約 200 社の一大鹿島臨海工業地帯が出来上がりつつある時で、農工両全の旗印のもと地域をあげ意気軒昂の時で、茨城大学工学部の卒業生も続々この鹿島地区の企業へ集まってきました。

あれから 34 年の歳月が流れ、工場見学会、講演会、屋形船パーティー、アントラーズ応援 J リーグ観戦、ヨットおよびボートクルージング等いろいろ総会行事に工夫を凝らし、同好会活動としてゴルフ、釣り、写真撮影等も併せて実施し、会員相互の親睦を図ってまいりました。また、途中母校の学生のための就職ガイダンス講演等にも引っ張り出されました。

当支部は茨城県東南部に位置し、東を太平洋、

西は霞ヶ浦、北浦、南は利根川と三方を“水”に囲まれた地域で鹿嶋市、潮来市、行方市、銚田市、神栖市の 5 市からなる地域です。ここ数年は支部活動をこの“水”を生かしたボートやヨットのクルージング活動やおらが町のチームであるアントラーズ応援 J リーグ観戦を中心に活動を行っております。

昨年 9 月には 12 年に一度という鹿島神宮式年大祭『御船祭』が、我々が主にボートクルージングを行っている常陸利根川を中心に繰り広げられました。鹿島神宮の祭神と香取神宮の祭神が再会し、人々の幸福と地域の安寧を願う神事で、鹿島神宮祭神の神輿を載せ御座船が 120 隻余りの供奉船とともに約 20km の航路を勇壮な姿で巡行を繰り広げました。我が鹿行支部会員所有のボートもその一艘として並走し、水上絵巻物語に釘付けとなったものでした。

最後に東京支部の皆様の御健勝と益々の発展を祈念致しております。



### 著者プロフィール

- ・昭和 20 年：青森県生まれ
- ・昭和 38 年：東京都江戸川高校に転校
- ・昭和 43 年：住友金属工業 (株) 入社  
和歌山～鹿島～大阪本社～鹿島にて勤務し、高炉操業・環境管理・リネンサプライ業・リサイクル事業等に従事
- ・平成 17 年：住友金属定年退職  
現在は日鉄住金リサイクル (株) 勤務中
- ・趣味：写真 (地域のクラブに加入)  
旅行 (海外旅行に興味大)

# 囲碁同好会

会長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、専機 22 の大先輩から  
 学子 46 の若手までの方々 33 名で、棋力は七段から  
 9 級までいろいろです。大会は、年に 4 回 2 月、  
 5 月、11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土曜日に東京  
 駅近くの碁会所「いずみ囲碁ジャパン」で行います。

試合は、午前 10 時半から夕方まで、参加者各人  
 が 5 回対局する方式で熱戦を繰り広げます。初回の  
 棋力は申告制で、ハンデ制を採用していて、段級  
 位にかかわらず、勝つチャンスがあるような運営

システムでやっています。成績次第で、段級位が  
 昇降します。囲碁に関心のある方は、ご参加く  
 ださい。会費は 2,000 円 (入場料、運営費を含む)  
 で 1 位から 6 位まで (参加者数による変更有り)  
 の方と実力を発揮できなかった方 1 名に奨励賞  
 が授与されます (準スイス方式を採用)。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な  
 懇親会を行っています。

## 連絡窓口

会長：田中 栄太郎 TEL 0466-82-4988

\*\*\*\*\*

平成 26 年度の大会入賞者 (支部会報第 17 号記載以降) は以下のとおりです。

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	参加者
59	2014 08-02	真下七段 (機 36)	山田五段 (電 42)	藤沼五段 (機 43)	阿部二段 (子 44)	白石初段 (化 38)	—	11 名
60	2014 11-08	阿部二段 (子 44)	真下七段 (機 36)	白石初段 (化 38)	高田三段 (機 28)	田中四段 (化 40)	飯村初段 (電 36)	14 名
61	2015 02-14	飯村初段 (電 36)	阿部三段 (子 44)	山下七段 (電 32)	寺内賢四段 (電 38)	桜井二段 (機 38)	藤沼五段 (機 43)	17 名

第 61 回囲碁大会参加者 (場所：いずみ囲碁ジャパン)



前列左から、兼子二段、山崎 3 級、佐々木四段、山下七段、富田初段  
 後列左から、白石二段、寺内道義六段、田中四段、藤沼五段、飯村初段、山田五段、粕谷二段  
 阿部三段、安田四段、桜井二段



# ゴルフ部



副部長 佐藤将彦 (昭 43 学子)

部活動として、「多賀いちょう会」と銘打って、春秋のコンペ開催と初夏の近隣五支部による対抗戦（各支部持ち回り）への参加を行っております。会員数は32名です(平成27年2月現在)。平成26年度活動報告と平成27年度活動計画は次のとおりです。(氏名は、敬称略及び卒年の「昭」省略)。

### 1. 平成26年度 第26回春季コンペ (4.14)

参加者10名、GMG八王子ゴルフ場で初開催。優勝は青野 (41 学化)。

### 2. 平成26年度五支部対抗懇親コンペ (6.10)

水戸勝田支部が幹事を担当し、参加者20名、霞ヶ浦国際ゴルフコースで開催。東京支部（第26回春季コンペのグロス上位4名が参加）は、団体5位に終わりました。

以上の詳細は会報17号にて既報しております。

### 3. 平成26年度 第27回秋季コンペ

開催日：平成26年11月10日 (月)  
場所：八王子カントリークラブ (初開催)  
参加者：10名 (以下、順不同)

上月秀俊 (36 学機)、小林一 (38 学機)、駒場方耀 (38 学機)、兼子八郎 (38 学電)、大久忠雄 (38 学電)、磯部亮 (38 学精)、森俊和 (40 学化)、青野潔 (41 学化)、角田勇 (43 学子)、佐藤将彦 (43 学子)

優勝：磯部、2位：青野、3位：森  
競技方法：新ペリア方式

### 4. 平成27年度 第28回春季コンペ

開催日：平成27年4月10日 (金)  
場所：相武カントリー倶楽部 (初開催)  
春もたけなわというこの時期に寒気が入り、花冷えのする (山) 桜吹雪の中、12名が参加しました。結果については、支部HPに報告・掲載してありますのでご覧ください。

### 5. 平成27年度 五支部対抗懇親コンペ (埼玉支部担当)

開催日：平成27年6月2日 (火)  
場所：新東京ゴルフクラブ  
東京支部からは、第28回コンペのグロス上位4名を選抜参加予定です。  
参加結果は支部HPで報告予定です。  
なお、来年度は東京支部担当で行われる予定です。

### 6. 平成27年度 第29回秋季コンペ予定

開催日：未定 (例年11月)  
場所：未定 (多摩地区予定)

情報発信面で、コンペの開催案内・結果など、その都度、支部HPに掲載しておりますので、是非、ご覧になっていただき、会員、一般を問わず、皆様の多くの参加を期待しております。

近年、加入者数の伸びなやみと会員の高齢化が一段と進み、コンペ参加者の減少・固定化が顕著であります。

この歯止め対策として皆様のパイプ、ネットワークを通じて、特に若手及び、女性における会員・参加者勧誘につき、ご支援・協力を賜りたくお願い致します。

#### 連絡窓口

部長：青野 潔 TEL 044-954-2573  
副部長：佐藤 将彦 TEL 050-7524-0949



# 山遊会

会長 小森廣樹（昭 42 学機）

平成 26 年 6 月以降、平成 26 年 12 月までの間、多摩川岸散策と生田緑地ハイキングを行いました。その概要を記します。

なお、山行計画ごとに「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。会員でない方の参加も歓迎します。

## 1. 第 48 回 多摩川岸散策と生田緑地ハイキング

実施日：2014 年 12 月 22 日（月）日帰り

企画者：青野 潔（41 学化）

参加者：5 名

行程：狛江駅—泉龍寺・伊豆美神社—多摩川岸—五本松—宿河原堰—登戸—広福寺—生田緑地・枳形山展望台—（日本民家園）—（岡本太郎美術館）—忘年会会場

参加者：海老原 和（24 専通）、矢野睦男（32 学原）、兼子八郎（38 学電）、青野 潔（41 学化）、小森廣樹（42 学機）

なお、海老原氏は今年米寿を迎え、山遊会行事参加者の最高齢記録です。

### <概要>

快晴。狛江駅から泉龍寺等を経て多摩川河畔へ。土手から望む多摩川は実に明るく、対岸の登戸の街の後方に真っ白な富士山が丹沢山系の上に構えていた。土手道を下流へ下り、二ヶ領宿河原堰の脇へ。その土手に記念碑が建ててあった。

多摩水道橋を渡り、生田緑地へ。首都圏を代表する緑地で、中には岡本太郎美術館、日本民家園（岐阜県白川村から移した合掌造りの家二軒あり）、伝統工芸館、かわさき宙と緑の科学館、藤子・不二雄ミュージアム等がある総合公園だ。緑地の最高地点の展望台からは関八州が望めた。

最後に川崎国際生田緑地ゴルフ場のクラブハウスで歓談した。

二ヶ領宿河原堰の記念碑；

昭和 46 年 9 月、台風 16 号の大雨で増水した川が新たに設けた堰堤により流れが変わり、造成した土地に建った新しい家を次々に押し流した。その様子がテレビで中継放映された。その後、家を流された人たちが国を相手取り損害賠償を請求（多摩川水害訴訟）。裁判は 16 年にわたり、原告側の勝訴となった。



<多摩水道橋の上にて>

左より矢野、小森、海老原、青野、兼子



<多摩川河畔の土手にて>

左より小森、青野、兼子、海老原

- ・多摩川の左岸に立てば川向かう  
山並みつづき富士は真白し
- ・多摩川の左岸に残る五本松  
チャンバラ劇のロケ地なりとぞ
- ・関八州の山々を見る  
生田なる枳形山の展望台に
- ・筑波山雲取山に武甲山  
見えて登山の山道浮かぶ  
詠み人：にゃんこ（兼子八郎）

### 連絡窓口

会長：小森 廣樹 TEL 045-573-3625

副会長：青野 潔 TEL 044-954-2573

# 写真部

部長 三好 成實  
(昭 39 学機)



15 人の部員で活動をしてきました。例年のおよりの撮影会、茨城大学工学部での「こうがく祭」での写真展。そして「同窓の集い」での写真展示などが主な活動です。なお、撮影会および「こうがく祭」については、会報第 17 号で報告済みです。

## 1. 東京支部「同窓の集い」での写真展示

H26 年 10 月 19 日(日)の東京支部『同窓の集い』で例年どおり総会・講演会会場に 7 人、12 点の作品を展示しました。出品作品のリストは別掲 (23 頁) のとおりです。

## 2. H26 年度写真部総会

H27 年 1 月 31 日(土)に写真部総会を文京区民センターで開催しました。7 人が参加して 26 年度の活動報告、27 年度の組織体制など討議しました。また、各写真部員の作品から当東京支部会報の表紙として鈴木日出男氏(昭 30 学原)の「ヒマラヤの山並」を選びました。

## 3. 会員の訃報

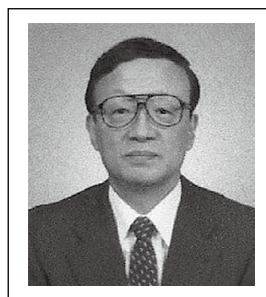
写真部会員の訃報が相次ぎました。

◆写真部最高顧問として指導をしてきました齋田和夫氏(昭 28 学機)が 12 月 9 日急死しました。齋田氏はマミヤ光機(株)の開発本部長として活躍され、いまだ名機とされている「マミヤ 645」を設計開発されました。また写真家としても国際サロンなどいくつものコンクールで入賞し東京、ネパールで個展を開くなど全日本写真連盟埼玉県本部役員、埼玉県展審査委員などを歴任しました。ここに、謹んで齋田さんのご冥福をお祈りいたします。



鈴木 日出男(昭 30 学原)

◆写真部員堀口正治氏(昭 46 院子)が 12 月 22 日突然になくなりました。あまりにも急な堀口氏の死は残念でなりません。堀口氏は日本電信電話公社(現 NTT)に入り、通信用光ファイバーと光部品の開発に取り組み、その間工学博士号を取得するなど、国内外での研究論文は 100 編を超えて、今日のブロードバンド通信を光ファイバーで切り開いた第一人者です。平成 21 年には東京支部の総会での講演、そして、趣味の写真でも活躍しました。ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。 石川 久(昭 44 学子)



## お二人の代表作品



齋田 和夫(昭 28 学機)  
チヤスパルバの祈り・ネパール



堀口 正治(昭 46 院子)  
ムーンサルト in 大洗

## 連絡窓口

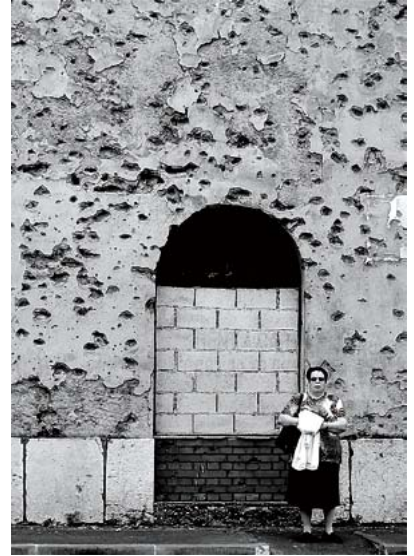
部長：三好 成實 TEL 042-726-6538  
副部長：柳下 幸夫 TEL 03-5497-0703

# 平成 26 年度同窓の集い・展示写真



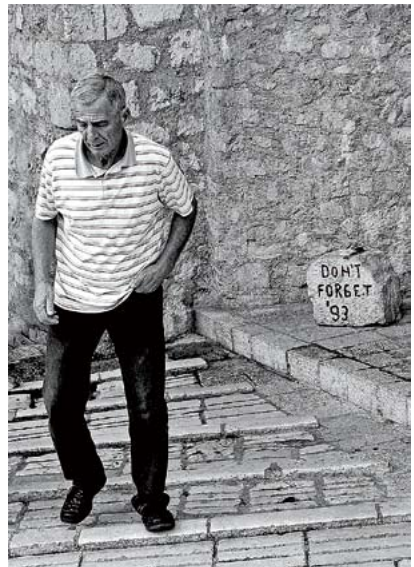
鈴木 日出男(昭30学原)  
「沁みる！」ネパール

小林 渡(昭38学電)  
「内戦の記録(1)」  
ボスニアヘルツェゴビナ



三好 成實(昭39学機)  
「水辺の詩」 東京多摩川

小林 渡(昭38学電)  
「内戦の記録(2)」  
ボスニアヘルツェゴビナ



柳下 幸夫(昭49学機)  
「台風一過の槍ヶ岳夕照」  
北アルプス



高橋 伸二(昭40学機)  
「興味津々」さいたま市自宅



山崎慎一郎(昭31学原)  
「王宮への行進」ネパール



三好 成實(昭39学機)  
「ツバメの子」横浜市中山駅



山崎 慎一郎(昭31学原)  
「パイネ国立公園」アルゼンチン



坏 弘(昭37学機)  
「湖畔の町ハルシュタット」  
オーストリア



坏 弘(昭37学機)  
「ゼーフェルト山麓景観」  
オーストリア

## 平成 26 年度同窓の集い・展示写真リスト

NO	撮影者	卒業年度	作品題名	撮影地	備考
1	鈴木 日出男	昭 30 学原	「沁みる！」	ネパール	26 年埼玉県展入選
2	山崎 慎一郎	昭 31 学原	「王宮への行進」	ネパール	
3	〃	〃	「パイネ国立公園」	アルゼンチン	
4	坏 弘	昭 37 学機	「湖畔の町ハルシュタット」	オーストリア	
5	〃	〃	「ゼーフェルト山麓景観」	オーストリア	
6	小林 渡	昭 38 学電	「内戦の記録 (1)」	ボスニア ヘルツェゴビナ	
7	〃	〃	「内戦の記録 (2)」	ボスニア ヘルツェゴビナ	
8	三好 成實	昭 39 学機	「水辺の詩」	東京多摩川	
9	〃	〃	「ツバメの子」	横浜市中山駅	
10	高橋 伸二	昭 40 学機	「興味津々」	さいたま市自宅	
11	柳下 幸夫	昭 49 学機	「台風一過の槍ヶ岳夕照」	北アルプス	
12	〃	〃	「北穂高岳讃歌」	北アルプス	

# 女子会

会長 太田（旧姓 野原）悦子（昭 60 学電）

東京支部女子会の活動報告を致します。  
特筆すべきトピックスは、昨年の東京支部会報や多賀工業会報をご覧になった方々からご連絡をいただいたことです。さらに 3 名の方とはお会いすることも出来ました。卒業から何十年も過ぎましたが、再会や新しく出会えた同窓の皆様とのつながりを今後も大切にしていきたいと思えます。まだご連絡いただけていない皆様、どうぞお気軽に以下のアドレスへご近況などをお知らせくださいませ。

東京支部女子会（男性会員の方もどうぞ）  
メールアドレス：[denki.nohara@gmail.com](mailto:denki.nohara@gmail.com)



## 主な活動内容

10 月：同窓の集い参加  
@上野（2 名参加、左：  
筆者の太田、右：副  
会長の鈴木）

11 月：秋のランチ会  
@渋谷（7 名参加）  
エクセルホテル東急  
25 階から変貌する渋谷  
を眺めながらのお  
食事に、お二人の先輩  
（48 学金 白川さん  
と 48 学化 寺田さん）をお迎えしていつも以上に、にぎやかで楽しい会となりました。

## 今後の予定

- ・同窓の集い（7 月 11 日、市ヶ谷）
- ・秋のランチ会（日時・場所未定）
- ・新年会（日時未定、場所は日立）など

女子会には、既婚・未婚・年齢・勤務状況など、様々な方が参加していらっしゃいます。私にとっては、明日への元気をいつも頂ける場所の女子会です。昨年の会報同様、「無理をせず、参加できる時だけ、当日キャンセル OK」の誰もが参加しやすい会として、今後も継続したいと思います。



# 女子会に参加して

寺田（旧姓 田島）しげ子（昭 48 学化）

多賀工業会・東京支部に女子会があるらしいと、同期金属科の白川（旧姓 藤森）さんからメールをもらいました。卒業後 41 年もたつて工学部の女子はどのように活躍しているか、知りたい気持から私たち二人は参加してみる事にしました。

当日、私は風邪気味で少しぼんやりした上に、渋谷の駅の広さに迷い、遅れて参加となりました。参加者は 7 名と思ったより少なかったが、着物姿



左から山本、太田、高野、白川、筆者の寺田、福田（敬称略）

の太田さんの仕切りで、それぞれの活躍を話していました。私と白川さんは一番の年長でしたが、初参加なので少し緊張していました。しかし、そこは同窓生ということでごやかに彼女らの活躍を聞きました。若い方の活躍の様子は、輝きとオーラがありました。工学部で学んだことを、直接社会に還元させて、それぞれ生き生きしていました。特に、山本夏江さんの相馬野馬追いを横須賀神輿パレードに呼んだ話は、興味深くジャンルに関わらず自分のいる場所で常にエネルギッシュに活躍していく、理系女子そのものでした。

また、会が進むうちに女子が工学部で学習するということは、緊張する日々だったことを思い出しました。同級生はみんな男子で親切でしたが、40 年前の工学部では学部全体で女子は例年 1 人でした。昭和 44 年入学の年は私と藤森さん 2 人でした。何気に、「トイレは授業中に行くのよ。」と言った時の皆さんの反応は、新鮮でした。

最後に、私の今の生活を少しお知らせします。現在、私は高校の数学教員を定年退職して、週に 3 日だけ働いています。それ以外の日は乗馬、英会話、ピアノ、コーラスと趣味三昧の日々を暮らしています。出来れば来年は世界一周に出ようと計画中です。

# テニス部



部長 森永 隆宏 (昭36学機)

平成 26 年 11 月 12 日 (水) に今年度 2 回目の練習会を開催した。場所は小金井公園の 16 番センターコート (観客席付き) で、参加者は 10 名。森永・河上副部長 (38 学機) ・徳江会計 (38 学機) の 3 役をはじめ、鈴江 (36 学機) ・小室 (36 学機) ・矢嶋 (38 学精) ・山本 (42 学精) ・斎藤 (44 学) ・村上 (48 学機) ・金子 (48 学機) が参加したが、柴崎 (38 学化) は都合がつかず残念ながら不参加となった。

天気は曇りで少し肌寒いくらいであったが、準備運動で身体を温めてから練習を開始した。初めにウォーミングアップを兼ねた基本練習で感覚をつかみ、次にパートナーを変えながらダブルス形式の試合を行った。現在の各メンバーのテニスとの関わり方は様々であり、コンスタントに週何回かプレーしているタイプ・気が向いたときに家族や仲間と楽しむタイプ・長い間ラケットを握ることがなかったがその内と思っていたタイプ等に分けられる。参加者は 65 ～ 76 歳とお世辞にも若いとは言い難い年齢ばかりだが、『昔取った杵柄』で随所に流石と言わしめるプレーが見られた。また、各人の運動量やスピードに差がある事は致し方ないが、皆一所懸命にボールを追いかけ、ケガなく終了できたのは幸いでした。



東京支部練習会 (小金井公園テニスコートにて)  
前列左から鈴江・斎藤・森永・山本・河上  
後列左から小室・徳江・矢嶋・金子・村上

4 時間余りの練習で気持ちの良い汗をかいた後、吉祥寺駅近くの居酒屋に場所を移し、本日の練習会の反省と今後の予定について意見・情報交換を行った。今後テニス部活動を益々盛んにしていくために、積極的に行事に参加すること・メンバーを増やすために声掛けすることで意見が一致した。今後の予定はこれから具体的に詰めるが、特に茨城大学テニス部 O B 会への積極的な参加・毎年 9 月に開催される福島大学テニス部 O B との対抗戦への参加交流を確認しあった。



O B 会 (茨城大学本部テニスコートにて)

続いて、平成 26 年 11 月 15 日 (土) に茨城大学本部のテニスコートに O B が集まり、快晴の下プレーを楽しんだ。東京支部からは 5 名が参加して、盛会に一役買うことができた。O B 会とは言っても、テニス選手として現役バリバリの若手も数名参加していて、非常に質の高い練習会となった。十分に気持ち良く汗を流した後は駅近くの居酒屋に場所を変えて、昔話と近況報告で旧交を温めた。

これまでは毎年継続して開催されてきたわけではないが、今年の勢いでこのまま毎年開催される方向に向かうことを願っている。当然のことであるが、そのためには出来る限りの協力を惜しまない気持ちでいる。

## 連絡窓口

部長：森永 隆宏 TEL 042-536-6173

メールアドレス：ta-mori@yel.m-net.ne.jp

# 平成 27 年度東京支部 組織体制と担当役務

平成 27 年 2 月 21 日

- 顧問  
渡辺 貢 (昭 26 専原)  
三本木 武 (昭 30 学金、多賀工業会副会長・理事)  
鈴木日出男 (昭 30 学原)、山崎慎一郎 (昭 31 学原)
- 支部長  
上月 秀俊 (昭 36 学機、多賀工業会理事)
- 副支部長  
駒場 方耀 (昭 38 学機)、小林 渡 (昭 38 学電)、兼子 八郎 (昭 38 学電)
- 幹事会  
幹事長 小林 一 (昭 38 学機)  
副幹事長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)  
会計幹事 森田 徹郎 (昭 42 学電)
- 監事  
高木 二郎 (昭 38 学化)、田中栄太郎 (昭 40 学化)
- 会報編集室  
編集室長 金子 芳久 (昭 48 学機)  
副編集室長 柳下 幸夫 (昭 49 学機)  
編集室員 石川 久 (昭 44 学子)、藤枝 伸一 (昭 45 学子)、  
三本木 武 (昭 30 学金)、鈴木日出男 (昭 30 学原)、山崎慎一郎 (昭 31 学原)、  
兼子 八郎 (昭 38 学電)、小林 渡 (昭 38 学電)、鈴木 葉子 (昭 62 学化)、  
二川 克美 (昭 63 院情)
- ホームページ編集室  
編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)  
副編集室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)
- 名簿編纂室  
編纂室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)  
副編纂室長 兼子 八郎 (昭 38 学電)  
昭 16 年から 26 年担当 駒場 方耀 (昭 38 学機) 注) 昭 27 年度卒は無。  
昭 28 年から 35 年担当 駒場 方耀 (昭 38 学機)  
昭 36 年から 45 年担当 大泉 雅靖 (昭 40 学精)  
昭 46 年から 50 年担当 柳下 幸夫 (昭 49 学機)  
昭 51 年から 55 年担当 飯塚 英一 (昭 46 学電)  
昭 56 年から 60 年担当 二川 克美 (昭 63 院情)  
昭 61 年から平 07 年担当 黒澤 郁雄 (昭 45 学精)  
平 08 年から 25 年担当 太田 悦子 (昭 60 学電)  
女子会担当
- 幹事会事務局の構成  
上月 秀俊 (昭 36 学機) 支部長  
小林 一 (昭 38 学機) 幹事長  
森田 徹郎 (昭 42 学電) 会計幹事  
飯塚 英一 (昭 46 学電) 名簿編纂室長  
金子 芳久 (昭 48 学機) 会報編集室長
- 同好会  
囲碁部 部長 田中栄太郎 (昭 40 学化)、副部長 山田 恵規 (昭 42 学電)  
ゴルフ部 部長 青野 潔 (昭 41 学化)、副部長 佐藤 将彦 (昭 43 学子)  
写真部 部長 三好 成實 (昭 39 学機)、副部長 柳下 幸夫 (昭 49 学機)  
山遊会 会長 小森 廣樹 (昭 42 学機)、副会長 小宅 仁 (昭 36 学電)  
副会長 青野 潔 (昭 41 学化)  
女子会 会長 太田 悦子 (昭 60 学電)、副会長 鈴木 葉子 (昭 62 学化)  
社交ダンス部 休部  
テニス部 部長 森永 隆宏 (昭 36 学機)、副部長 河上 弘一 (昭 38 学機)

# 平成26年度会費納入者

(敬称略、順不同)

平成27年4月以降の納入は掲載しておりません。

氏名の前の□は平成25年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成27年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

\* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡お願い致します。また、未納の方はご入金をお願い致します。  
Tel: 045-755-1588 FAX: 03-6862-8291(本名簿作成者: 飯塚)

昭17専金 坪能 進	昭30学金 三本木 武	昭37学機 堀 恒夫 ①	昭38学化 白石 道彦 ②
昭18専機 山本 栄治	昭31学機 高橋 義博	昭37学電 上田 正雄	昭38学化 高木 二郎
昭18専金 市島 健男 ⑦	昭31学原 瀬在 城雄	昭37学金 舟田 隆	昭38学化 矢部 功一 ⑥
昭19専原 朽本 二郎	昭31学原 山崎 慎一郎	昭37学化 阿部 徳治	昭38学精 磯部 亮
昭20専原 友保 伊弘	昭31学電 大内 孝	昭38学機 河上 弘一	昭38学精 市村 敬司 ⑤
昭20専精 田島 廣一	昭31学電 藤川 俊明	昭38学機 小林 一	昭38学精 上野 武彦
昭20専通 山本 李兵衛	昭32学原 金子 栄	昭38学機 駒場 方耀	昭38学精 黒羽 昇
昭22専機 佐藤 喬太郎 ④	昭32学原 榊原 康夫	昭38学機 桜井 衛	昭38学精 西村 政雄
昭22専金 明石 和夫	昭32学原 矢野 睦男	昭38学機 丹下 宏	昭38学精 矢嶋 國男
昭22専金 土屋 敏夫 ②	昭32学機 伊藤 義次	昭38学機 徳江 景英	昭38短機 箱山 雍 ③
昭22専通 中村 弘	昭32学機 國井 榮次	昭38学機 豊田 元雄	昭39学機 北島 正保 ①
昭22専通 前田 豊昭	昭32学機 平沢 正一	昭38学機 中村 好秀	昭39学機 小林 章夫 ①
昭24専機 若林 麟介	昭32学機 溝口 知昭	昭38学機 箱崎 光政	昭39学機 佐川 六郎
昭24専精 鳥山 尚利	昭32学電 渡辺 英雄	昭38学機 長谷川 幸夫 ②	昭39学機 三好 成實
昭24専電 白石 壽男	昭33学原 山崎 勝雄	昭38学機 半田 守正	昭39学電 塚本 文彦 ②
昭24専通 海老原 和	昭33学原 吉久保 節男	昭38学機 益子 洋一	昭39学電 原 俊彦 ②
昭24専舶 杉山 六郎	昭33学機 奥 康治 ⑥	昭38学電 内田 茂	昭39学金 入江 暢泰
昭25専原 忍田 邦夫	昭33学電 島田 直彦	昭38学電 大久 忠雄	昭40学機 飯野 嘉郎
昭26専通 菊地 玲二 ①	昭34学原 粕谷 宏夫	昭38学電 大竹 充 ②	昭40学機 武田 紀男 ③
昭28学原 戸島 日出雄	昭34学電 千葉 克男 ④	昭38学電 兼子 八郎 ③	昭40学電 山崎 輝行
昭28学機 坂場 昭二	昭34学電 結城 佑	昭38学電 熊谷 文男 ②	昭40学金 松本 二郎
昭28学機 (故)斎田 和夫	昭35学機 高野 久弘	昭38学電 小島 淳	昭40学化 田中 栄太郎
昭28学機 高田 丈夫	昭36学機 柏木 尚	昭38学電 後藤 紀夫	昭40学精 大泉 雅靖
昭28学電 稲見 孝	昭36学機 上月 秀俊	昭38学電 小林 渡	昭41学機 富田 瑞穂
昭28学電 玉川 信二 ①	昭36学機 堺 茂郎	昭38学電 坂野 栄	昭41学機 赤熊 憲保
昭28学電 橋本 久美	昭36学機 真下 知行 ②	昭38学電 佐々木 登喜夫 ②	昭41学化 青野 潔
昭28学電 藤田 史郎	昭36学機 森永 隆宏	昭38学電 田川 政行	昭41学化 岡本 実 ①
昭28学金 赤城 清	昭36学機 横山 馨	昭38学電 橘 弘	昭41学化 小沼 淳志 ⑤
昭29学原 石原 弘 ①	昭36学電 飯村 卓郎 ⑨	昭38学電 寺内 賢一 ②	昭41学化 斎藤 保夫
昭29学原 奥野 眞治	昭36学電 小宅 仁 ②	昭38学電 根本 勤	昭41学化 橋川 隆夫
昭29学機 ② 永島 隆	昭36学電 河野 昭徳	昭38学電 根本 陽	昭41学化 矢島 勝司 ⑥
昭29学電 森 章太郎 ②	昭36学電 橋本 正直	昭38学電 橋本 政巳 ②	昭42学機 菅谷 禎男
昭30学原 鈴木 日出男 ①	昭36学金 高信 和明	昭38学電 綿引 貞男 ②	昭42学機 小森 廣樹
昭30学原 成井 浩	昭37学機 坪 弘	昭38学金 海老原 雄二	昭42学機 藤嶋 久波
昭30学機 小室 敏之	昭37学機 服部 則男	昭38学金 ⑤ 笹沼 篤夫	昭42学電 粕谷 利夫 ②
昭30学機 佐藤 久弥	昭37学機 栗橋 貞夫	昭38学金 藤咲 衛	昭42学電 森田 徹郎
昭30学機 檜山 邦良	昭37学機 澤野 孝慈	昭38学化 大塚 進 ⑤	昭42学電 山田 恵規 ④
昭30学電 ① 木村 好延	昭37学機 野本 光彦 ④	昭38学化 小田倉 勝夫	昭42学金 小菌井 健 ④

昭42学精 下ノ村 勇 ④	昭44学精 岩波 茂	昭48学機 金子 芳久 ⑥	昭55学機 長 正彦 ②
昭42学精 山本 蕃	昭45学機 笹沼 克己	昭48学機 ① 宮城 緑郎	昭55院電 丸島 國義
昭43学機 遠藤 義和	昭45学電 永木 利夫 ⑧	昭48学機 村上 宗久 ③	昭57学機 水口 一郎 ①
昭43学電 後藤 豊弘 ③	昭45学電 吉田 通廣	昭48学子 細谷 徹夫	昭58学機 有路 博 ①
昭43学子 小澤 茂 ①	昭45学子 藤枝 伸一 ④	昭48学精 福島 良信 ③	昭58学電 深作 浩
昭43学子 金子 民生	昭45学精 伊藤 茂	昭49学機 柳下 幸夫	昭60学電 太田 悦子 ③
昭43学子 佐藤 将彦	昭45学精 長部 弘志 ④	昭49学電 坂本 淳 ①	昭60学精 豊福 秀敏 ②
昭43学子 角田 勇	昭45学精 黒澤 郁雄 ③	昭49院子 松田 秀雄 ①	昭62学機 神作 武志 ④
昭43学子 野崎 淳一 ③	昭46院機 岡本 和彦 ③	昭50学機 松尾 泉	昭62学化 鈴木 葉子
昭43学金 鈴木 竹四	昭46学電 飯塚 英一	昭50学子 松田 実	昭62学情 福田 光子
昭43学精 斉藤 央道	昭46学電 狩野 守	昭50学金 武藤 和望 ④	昭63院情 二川 克美
昭44学電 緑川 晃	昭46学子 大崎 孝明 ①	昭50院精 加藤 清	平9学情 秋山 英樹
昭44学子 五十嵐 幸治	昭46学子 栗原 功幸	昭51学子 庄司 益宏 ④	平8学電・子 生井澤 伸秋 ⑤
昭44学子 石川 久 ①	昭46学子 安田 健博 ①	昭52学子 長尾 英則 ④	平8院生 東 學 ①
昭44学子 野澤 敏矩 ③	昭46学金 今富 久雄	昭53学機 ④ 岡野 健	平9学都 小林 靖典
昭44学子 吉田 真吾	昭46学金 大井川 勝雄 ①	昭53学子 小澤 喜宏	平10学機 山本 夏江
昭44学化 斉藤 昭 ④	昭47学機 高田 洋 ①	昭53学子 加藤 邦治	平10学機 吉田 順子
昭44学化 宮川 滋	昭47学機 西岡 周二 ③	昭53学情 西部 俊憲	平12院理 乾 智彦
昭44学精 菊地 政行	昭47学子 五十嵐 喜良 ⑧	昭53学化 成田 芳徳	

合計 227名

## 平成26年度ご寄付者名簿

(敬称略、順不同)

ご寄付有難うございました。

昭22専機 佐藤 喬太郎	10,000	昭26専通 菊地 玲二	10,000
昭28学電 元顧問(故)近江義勝氏ご内儀	30,000		
昭38学電 佐々木 登喜夫	30,000		

年会費納入のお願い：添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。  
ご寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。  
この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度(平成26年度)の年会費は未納となっています。  
会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H22～H26)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H22年からH26年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。 <宛名サンプル例示(C)に該当します>

- (A) 11111→5年間分完納。
- (B) 11110→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C) 11100→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D) 00000→この5年間未納。会報未送付年を含む。
- (E) 00111→H24から3年間納付。会報未送付年を含む。

101-1234 会報18号在中  
東京都千代田区多賀町1-2-3  
多賀本町住宅 3番街 5-2345  
多賀専 学太郎様  
昭XX学○ (H22～H26) 11100

# 「東京支部会則」

(平成 27 年 2 月 21 日改訂)

## 第 1 章 総則

第 1 条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第 2 条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

## 第 2 章 事業

第 3 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

## 第 3 章 会員

第 4 条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

## 第 4 章 役員

第 5 条 本会は次の役員を置く。

- 支部長 1 名
- 副支部長 若干名
- 幹事長 1 名
- 幹事 若干名
- 会計幹事 1 名
- 監事 2 名

その他（同好会幹事、相談役、顧問など）若干名

第 6 条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会で承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第 7 条 役員職務は、次の通りである。

支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。

副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。

幹事長 幹事の業務を統括する。

幹事 会の運営業務を夫々分担して遂行する。

会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。

監事 会計を監査し総会で報告する。

同好会幹事 同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。

相談役 支部長の相談に応ずる。

顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第 8 条 役員任期は 2 年とし、重任を妨げない。

## 第 5 章 会議

第 9 条 支部総会は、原則として毎年 10 月に開催する。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第 10 条 支部総会は、次の事項について審議し、出席過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第 11 条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年 4 回（2、5、8、11 月の第 4 土曜日）開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第 12 条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の 3 分の 2 以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

## 第 6 章 会計

第 13 条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第 14 条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第 15 条 本会の会計年度は、4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 16 条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成 16 年 10 月 23 日より施行する。

## 細則規定

第 1 条 年会費は、2,000 円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。

- (1) 但し、一旦納入の会費は返還しない。
- (2) 会計幹事は年会費の銀行預金口座、郵貯振込口座の管理をおこなう。

第 2 条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者（但し、5 年連続未納者には以降配布を停止することが出来る。）
- (2) 支部総会参加者
- (3) 配布希望者で支部長が許可した者
- (4) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第 3 条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第 2 条の対象者以外にも広げて発送する。

第 4 条 慶弔規定は別途定める。

第 5 条 80 歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第 6 条 幹事会に事務局を置き、幹事長が幹事会の取りまとめを行う。

第 7 条 幹事長には副幹事長、会報編集室長・ホームページ編集室長・名簿編纂室長には副室長をおき職務を補佐する。

第 8 条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成 16 年 10 月 23 日より施行する。平成 23 年 8 月 27 日に第 1 条(2)追加、第 2 条(1)修正、第 6 条を追加した。旧第 6 条は第 7 条とした。平成 27 年 2 月に細則の第 2・6・7 条を修正した。

# HP 編集室より

HP 編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)

2004 年 10 月に本部のサーバーを借りてホームページ (HP) を開設して以来、今年で 11 年目になります。この間に掲載した件数は 2014 年末で約 310 件、アクセス数は約 15,400 件となります。会員の活動情報を掲載し、会員相互の親睦を図ることを目標に運営して参りました。また、2010 年 4 月からはメーリングリストを利用して HP の掲載情報を発信しております。

一方、コンピュータ関連の業界も様変わりし、機器の変遷 WindowsXP から Windows8.1 へと、また SNS (ブログ・ツイッター・フェイスブックなど) は、HP 作成の言語を知らなくても気軽に発信できることから、HP よりこちらが主流になりつつあります。手軽に誰でもが利用できる反面、利用を一步間違えると過剰反応を起こし社会問題となっている一面もあります。改善されたとは言え Windows8.1 の評価は今一步、年内にも Windows10 へアップデートされるよ

うです。一部の専門家に提供されている評価版を使用した方の話では非常に使い易くなっているとのこと期待されます。今回は無償でのアップデートとのことマイクロソフトも責任を感じているのかなと思っています。ガラケイと呼ばれる携帯電話からスマートホンへ、電話機と言うより小型コンピュータの領域です。写真も下手なデジカメより綺麗な写真が撮れ、SNS を利用しての情報発信になるとパソコンでは情報が遅れ付いていけなくなりました。筆者はまだガラケイを使っていますが、そろそろスマートホンへ切り替えが必要かなと悩むところとなっています。HP に対するご助言・叱責など有りましたら、トップページより WEB メールにてご連絡願います。また、投稿ページも準備しておりますので、クラス会や旅行記など投稿して頂ければ有りがたいです。

最後に、筆者も 80 歳を超え、体力的にも限界を迎えています。HP の制作が出来る方を求めます。協力頂ける方がおられましたら HP よりご連絡をお願いします。月に 1or2 日のボランティアでの活動 (HP の制作・管理) が必要だと思えます。

URL : <http://tokyo.tagakgk.com/>

## 編集後記

◆お知らせです。平成 27 年を迎え多賀工業会名誉会長が、米倉達広工学部長から新しく工学部長に就

任された馬場充 (知能システム工学科) 教授に代わります。また、本部事務局員の大島郁也氏が 3 月 31 日付けで退職しましたので、4 月 1 日付けで元事務局員の方の今村好男氏 (昭 41 学機) を事務長として採用致しました。(三本木武)

◆10 年間この会報を編集して、色々勉強させて頂きました。幸い有能な後継者が見つかってその任を離れて 2 年目の今年は、ちょっとしたお手伝い程度の仕事しかせず、例年に比べ肩の荷が軽かったように思っています。同窓会での 10 年は少し長いと思えます。早く若手の方が現れて世代交代が進むようにと願って止まないのが偽らない今の気持ちです。

(兼子八郎)

◆編集委員として原稿を書いてくださる方を探しましたがなかなか見いだせず、やむを得ず、自ら拙いエッセイを寄稿し掲載していただきました。気後れする場面もありましたが編集長の熱意により内容以

上の出来上がり。会員の皆様も回顧録、御自分の経験、培ってこられた趣味など、次回の会報に出稿してみても如何でしょうか。一人でも多くの方々の人生経験をご披露頂きたいと思えます。(藤枝伸一)

◆今回からページ数が 28 から 32 に増えるとともに、全ページカラーになりました。見かけが変わったので、次に内容のさらなる充実を図っていきたく考えています。目指すのは『読んで面白い会報』です。そのためにも会員の皆様からの意見・提案・苦情等何でも結構です、是非会報編集室までお寄せください。なお、今回広告に空きが出そうでしたが、三本木顧問の御尽力で数がそろい、裏表紙も体裁よくまとまりました。深謝! (金子芳久)

◆話す言葉は一過性のものであり、多少の言い間違いがあっても雲散霧消して後に残りません。しかるに、『書くということは退路を閉ざす』と言われるように、書いたものは後世に残りますので慎重にならざるを得ません。投稿にご協力頂いた諸氏のご努力と決断に頭が下がる思いです。今後ともご協力の程お願い申し上げます。(柳下幸夫)

### 編集室員

三本木 武 (昭 30 学金)	鈴木日出男 (昭 30 学原)
山崎慎一郎 (昭 31 学原)	兼子 八郎 (昭 38 学電)
小林 渡 (昭 38 学電)	石川 久 (昭 44 学子)
藤枝 伸一 (昭 45 学子)	金子 芳久 (昭 48 学機)
柳下 幸夫 (昭 49 学機)	鈴木 葉子 (昭 62 学化)
二川 克美 (昭 63 院情)	

多賀工業会東京支部会報 【第 18 号】  
発行 平成 27 年 5 月 16 日  
発行者 支部長 上月 秀俊  
〒165-0034 東京都中野区大和町 3-21-12  
TEL 03-3337-1300 FAX 03-3337-2715



# 新しい資産形成の考え方

インカム住宅を建てることで  
自分たちの住む家にかかる支出を0(ゼロ)にする。

戸建賃貸住宅 casita

詳しくは web で。

資料請求、お問い合わせは  
こちらまでお気軽に！  **0120-355-347**

建設業許可番号 / 茨城県知事登録 (特-22) 第 19313 号 日立市多賀町 2-4-6 株式会社 **ジュンホーム**

茨城大学工学部  
昭41学化  
後援会長



(株) ジュン・ホーム  
代表取締役  
小沼 淳志

# 整体健康開発院

医学博士 海老原 雄二 (昭38 学金)

〒302-0105 守谷市薬師台 5-20-8

TEL (0297) 48-8820、FAX (0297) 48-8820

私たち大協印刷は、  
印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。  
ぜひ一度ご相談ください。



大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14  
TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp  
<http://www.daikyo-print.co.jp>

